

テーマ：地域資源の掘起こしと活用 対象：地域住民 主催：高陽地区 4 公民館

高陽を深掘りしたらすごかった!?

あなたの知らない（かもしれない）高陽町

子供の居場所としての活用		住民相互の学び合い・交流	○	関連施設・施策や民間企業等の連携	
--------------	--	--------------	---	------------------	--

1 学習プログラムの展開（令和5年度）

日 程	場 所	学習・活動内容
令和6年 2月24日（土）	広島市口田公民館	・アイスブレイク ・スライド上映（歴史の振り返り） ・高陽地区の伝承話の朗読 ・ワークショップ（航空写真を見ながら、今と昔を比較。）



対 象	地域住民
経 費	参加費無料
連携先	広島市真亀公民館 広島市倉掛公民館 広島市高陽公民館

問合せ先	広島市口田公民館 〒739-1734 広島県広島市安佐北区口田四丁目9番19号 電話：082-842-7744 ファクシミリ：082-842-7744
------	---

2 学習目的

○地域住民の多くは、高陽で生活をつづけていながらも、高陽地区の今しか知らず、歴史を知る機会もない。地域の歴史を学ぶことで無関心が関心になり、自分と地域との関係を意識するようになり、いずれは地域活動への関心、地域参画への動機といったシビックプライドの醸成に繋げる。

3 学習目標（学習目的の達成に向けて、付ける力）

○今につながる高陽地区の歴史についての知識・理解
○地域の伝承話についての知識・理解
○地域開発の変遷についての知識・理解
○地縁、血縁がない地域住民が自分と地域との関係を意識するようになる。また、それを共有することができる。

4 事前に必要な知識や準備物

○高陽地区の歴史や伝承話について知る。
○航空写真等の資料の準備。
○スライドショーの作成。

5 留意点

○スライドのアニメーション化で視覚的に訴える。
○ワークショップで使用した航空写真、クリアシートに印刷した時代ごとの地図を重ねて、違いがよくわかるようにする。
○タイトルをソフトなイメージにして参加しやすいようにする。
○スライド化することによって誰でも実施できるように、パッケージ化する。

6 成果

○知ることによって、地域との関係性を感じることができた。
○知らなかったこと、自分が住んでいる地域への好奇心・関心を高めることができた。

7 課題

○より多くの人のシビックプライドのきっかけとするために、より多くの人に話を聞いてもらう機会を作る必要がある。
○どの職員でもプログラムの実施ができるように、職員のスキルアップが必要。

8 学びの成果を事業後に生かすための工夫

○多すぎるコンテンツを精査する。
○ワークショップアクティビティを開発する。
○小学校の1時限45分の枠に収まるようなパッケージのコンパクト化を図り、小学校へ売り込む。
○小中学生向け、成人以上向けの対象別プログラムを作成する。
○誰でもが、上演できるようにパッケージドプログラム化する。